

福音の園だより

平成十八年度「高齢者雇用優良事業所 協会会長賞」受賞

〒604-0016 埼玉県川越市木野目一八七八番地一

〒604-0016 埼玉県川越市木野目一八七八番地一

〒604-0016 埼玉県川越市木野目一八七八番地一

〒604-0016 埼玉県川越市木野目一八七八番地一

〒604-0016 埼玉県川越市木野目一八七八番地一

〒604-0016 埼玉県川越市木野目一八七八番地一

ご家族の声

記念の口、感謝をいじめ！

四年前、二〇〇四年の本日午前十一時頃、母・チエが入院していた日総合病院から、自宅に寄らず、直接入所させていただきました。その日から四年間が過ぎました。今、母の口から出る言葉は「感謝」の一言だけだと私は思います。六七年間、母と付き合ってきたこんな母は初めての体験です。人生の最晩年をこんな素晴らしい元々の母に戻って毎日を生きている幸せ、皆様本当にありがとうございます。

本日の夕刊各紙に、井上ふみさんの死亡記事が掲載されており、作家・井上靖さんの奥さんと母と同志社高女時代のクラスメートで、もう十数年前になろうかと思いますがクラス会をやるからとご本人から電話あり、新宿へ連れて行ったことを思い出しております。京都時代の母の青春、キリスト教との出会い、そして今、福音の園での生活、最晩年での感謝の言葉、皆様本当にありがとうございます。

「お母さんがここで幸せに暮らしているから、私達も

心配しないでそれぞれの生活ができています。お母さんありがとうございます。」と面会の度に母に語り、手を握り合います。皆様、今後どうぞ宜しくお願い申し上げます。四年間本当にありがとうございます。 鈴木 壮夫

希望への支援の実践―方針説明

聖書に基づいた「介護力」を高めるために

グループホーム 福音の園・川越 ホーム長 杉澤 卓巳 朝、デイサービスご利用者宅へ向かう途中、カラジオから「テレホン身の上相談」が耳に入る。ある日、五十代主婦から、義母との同居はしないと条件で再婚したのに、姉妹の急病等から長男である夫が母を引き取ることになりそうだ。同居する位なら離婚する決意だという相談内容。この日の午後、お茶の時間にこれを話題にしたら、中高年スタッフが一言、「すぐに自分の番になるのにネ！」

老親の幸福とあなたの幸福は表裏一体

先月号で「一人では担えないから、スタッフ総力で十八名のご利用者をお世話する」とお話しした。ここに「愛に基づいた介護力がある」と記した。この「愛」は「聖書に基づいた愛」だと言える。「福音の園」が拠り所とする聖書の言葉の一つが、『父と母を敬いなさい。』これは約束を伴った最初の掟です。「そうすれば、あなたは幸福になり、地上で長く生きるようになる」という約束です。』

（新約聖書 エペソの信徒への手紙6章2〜3節）
一年三六五日「毎日」であるべきなのに何故か、毎年一日限りの「敬老の日」。「父と母を敬いなさい」は、誰もがそらんじるほど有名な言葉。ところが、「そうすれば、あなたは幸福になり、地上で長く生きるようになる」という言葉とセットになっ

る聖書の言葉であることは周知されていない。『あなたの父母を敬え。そうすればあなたは、あなたの神、主が与えられる土地に長く生きることができ。』（旧約聖書 出エジプト記20章12節）

「あなたの父母を敬いなさい。そうすればあなたの父母は長生きする」とは記されていない。老親の幸福とあなたの幸福は表裏一体ですという。相反するかに見える二つのものが、根本では密接につながっている。あなたの老親を大切にすることを抜きにして、あなたが幸福で穏やかな生活を望むことは出来ないと言っている。しかも厳しただけの「掟」と思いきや、確かな「約束を伴う」という優しさに満ちたこの聖書の言葉に驚嘆する。

人として尽くすべき本来のつとめ

厚生労働省の指導により、しかたなく「重度化指針」を作成し、しかたなく「大変だけれどもみんなで頑張ってお世話します」ではない。掲げている「福音」（聖書）の真意に目が開かれて至極当然、介護事業者の本分として重度化に対応しているのである。十八名のご利用者を自分の親のように大切にし、お世話させていただくことで、介護事業所としての「福音の園」と、そこに働く一人ひとりが幸福（事業発展）になっていくという。この約束を望み見て一意専心、介護力向上に努めているのである。

【開園四周年記念バザーの御礼】

木野目地区四自治会長様・川越ハイツ自治会長様宛、チラシ回覧を依頼して迎えた十月十一日（土）、九時半開店バザー。近隣の方々はじめ、ご家族の皆様にご来店いただきました。尚、バザー用品を多数提供下さいました皆様に心から御礼申し上げます。

来訪歓迎

居宅介護支援事業所 ハイツ三芳様（三芳町）
御礼 梨 藤野 清美様（東松山市）